

# 令和3年度第1回下水道運営審議会 会議録

〔事務局〕 下水道経営課

〔開催日時〕 令和3年11月12日（金曜日）午前10時40分～11時45分

〔開催場所〕 伊勢原市役所 3階 全員協議会室

〔出席者〕 （敬称略）

（委員） 笠原俊男会長、安藤忠勝副会長、柏崎恵理子、栗原誠人、重田芳乃、  
竹内裕子、田村貴寿、西村賢一、古田和恵、三野泰宏

（欠席） 佐藤義一、松原沙織

（事務局） 石塚俊彦下水道担当部長、石井啓治参事兼下水道経営課長、  
高梨和美下水道整備課長、杉崎友則下水道担当課長、外7名

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0人

## 《審議の経過》

### 1 開 会

### 2 議 事

#### （1）下水道運営審議会の概要について

- ①審議会とはどのようなものか
- ②審議会の役割
- ③審議会の答申に対する法的拘束力について

以上の内容について、事務局から資料に沿って説明が行われた。

#### 【質疑応答】

特になし

#### （2）伊勢原市の公共下水道の概要について

##### ①整備計画

ア 相模川流域関連公共下水道

イ 市単独公共下水道

ウ 公共下水道の進捗状況（令和2年度末）

以上の内容について、事務局から資料に沿って説明が行われた。

**【質疑応答】**

（委員）今後10数年の間に大規模地震の発生が想定されるが、対策は行っているのか。

（事務局）地震対策の計画を立て、改築工事を進めているところである。

（委員）施設の老朽化が進んでいるとのことだが、伊勢原市の全ての汚水を流域下水道にて処理するという考え方はないのか。

（事務局）検討は進めているが、県の許認可や流域下水道への排水ルートなど課題も多く、現状では難しい。

（委員）各ポンプ場の役割はどのようなものか。

（事務局）東大竹ポンプ場は終末処理場の付近まで汚水を圧送させる役割が、下落合ポンプ場はその場で水位を上昇させ、ポンプ場そばの流域下水道の管きよに圧送させる役割がそれぞれある。

（委員）下水道普及率は市内事業所も含んで計算しているのか。

（事務局）下水道普及率は市内在住者のうち、どれくらいの人が下水道を利用できる環境にあるかを示す数字のため、事業所は含まれていない。

(3) 今後の下水道使用料について

①特別会計と独立採算について

②汚水処理原価・使用料単価の現状

③経営戦略を踏まえた今後の下水道使用料について

以上の内容について、事務局から資料に沿って説明が行われた。

**【質疑応答】**

（委員）管きよの新規敷設や既存管きよの耐震化に係る工事費用は汚水処理費に含まれるのか。

（事務局）管きよを構築する費用は減価償却をしていく中で汚水処理費に計上されることとなる。

3 その他

4 閉会